

(第2学年)

月	教材名	時数	学習活動	評価規準	観点	評価方法
4	未知へ 聞きくらべる (聞くこと)	2	1 いろいろな詩や話について聞きくらべる。 2 聞きくらべることで感じたことやわかったことを友だちと話し合う。	・聞きくらべることで違いを知り、その意図や効果を理解する。 ・話し合うことで、自らの聞き方を把握する。		観察 発言 ノート
	小さな手袋 (小説) ことばのコラム1	6	1 シホが別の登場人物に対してとった行動の理由を考え、話し合う。 2 シホの言ったことばの背後にある気持ちを考える。 3 題名の表す意味を考え、文章にまとめる。 4 「わたし」のシホに対する見方や思いが表れている部分を探し、それについて考えたことを発表する。 〔ことばのコラム〕和語・漢語・外来語を理解する。	・文脈の中における語句の意味や効果をとらえ、内容を理解する。 ・小説の構成や展開を正確にとらえ、人物像や言動の意味をつかむ。		観察 発言 ノート
5	短歌の世界 (短歌)	7	1 解説の文章を参考にして、短歌を味わう。 2 好きな短歌を何首か選び、情景や心情について調べたり考えたりして、発表する。 3 意味の切れ目や調子に注意して、短歌を朗読する。	・文章や短歌の中にある語句の意味や効果的な使い方について理解し、自分のことばの使い方に役立てる。 ・短歌の切れ目や調子など、短歌の特徴に注意して読む。		観察 発言 ノート 小テスト
	<ことば発見1> 対義語・類義語 (語彙・語句) <漢字の部屋1> 対義語・類義語をつくろう (漢字)	2	1 対義語や類義語の意味のあり方について整理し、ことばを言いかえたり、意味・用法を説明したりする。	・類義語と対義語の意味や用法に注意する。		観察 発言 ノート
	ホテルの里づくり (解説)	5	1 意味段落に分け、それぞれに小見出しをつける。 2 ヤエヤマボタルが減びる原因についてまとめる。 3 「環境を守る」ことと「環境をつくる」こととの違いについて、考え、話し合う。	・中心部分と付加的部分、原因と結果、問いと答えなどを読み分け、内容を正確に理解する。 ・人間と自然の関係、自然環境の保護などについて考え、自分の考えをもつ。 ・話の内容や意図に応じた適切な語句の選択、文の効果的な使い方など説得力のある表現に注意して話したり聞いたりする。		観察 発言 ノート
	<漢字探検1> 漢字の音と訓・熟字訓 (漢字)	1	1 複雑な音訓をもつ漢字や熟字訓の原理について整理し、読みを調べる。	・漢字の音訓について理解し、漢字について関心をもち、理解を深める。		観察 発言 ノート

月	教材名	時数	学習活動	評価規準	観点	評価方法
6	わたしが一番きれいだったとき (詩)	2	1 繰り返し読み、心に残ったところを 発表し合う。 2 主題につながる語句をとらえ、そこ から作者の気持ちや考えを想像す る。	・ 詩の表現の仕方や特徴に注意し て読む。 ・ 詩を読み、人間の生き方や社会 のあり方について考え、自分の 意見をもつ。		観察 発言 ノート
	『少年H』で伝え たかったこと (解説)	3	1 筆者が『少年H』を書こうと思立 った動機についてまとめる。 2 筆者が伝えたかったことを箇条書き でまとめる。 3 筆者の考えの一番出ている部分につ いて、どんな考えがこめられている か、話し合う。	・ 文章の展開に即して内容を的確 にとらえ、適切にまとめる。 ・ 筆者の論理展開の仕方をとら え、内容の理解に役立たせる。 ・ 文章を読み、人間と社会のあり 方について考え、自分の意見をも つ。		観察 発言 ノート
	焼け跡 (小説)	4	1 二つの文章をあわせて読んで、感じ たことや考えたことを話し合う。	・ 小説を読み、人間の生き方や社 会のあり方について、自分の考 えをもつ。 ・ 相手の立場や考えを尊重しなが ら、目的に沿った話し合いが効 果的に進められるよう話したり 聞いたりして、自分の考えを深 める。		観察 発言 ノート
7	<文法の窓 1> 動詞・形容詞・形 容動詞 <漢字の部屋 2> 熟語をつくるう	8	1 用言の活用にはいくつか異なる種類 があることを発見する。 2 用言の活用の種類を品詞ごとに整理 する。	・ 用言の活用について理解し、文 法について関心をもち、理解を 深める。		観察 発言 ノート 小テスト
9	心のバリアフリー (評論)	5	1 文章を読んで、気づいたことや考え たことをメモする。 2 キーワードを手がかりに、筆者の考 えをまとめる。 3 観点を決め、筆者が考えを伝えるた めにどのような表現の工夫をしてい るのかを考える。	・ 筆者独自の表現の仕方や文章の 特徴に注意して読む。 ・ 筆者の人生観や社会観をとら え、自分の意見をもち、高める。 ・ 広い範囲から話題を求め、これ からの社会について話したり聞 いたりして、自分のものの見方 ・ 考え方を深める。		観察 発言 ノート
	意見文を書こう (意見)	7	1 思いや感じ、考えを確かなものにし、 手順にしたがって自分の意見を文章 にする。 2 お互いに交換して読み合い、気づい たことをカードなどに書いて渡す。	・ 自らの思いや考えを、事柄と意 見を明確にしつつ、読み手を意 識しながら、効果的な表現を工 夫して書く。 ・ 読み合うことで、自らの考えを とらえ直し、他者の表現の効果 に学ぶ。		観察 発言 作品

月	教材名	時数	学習活動	評価規準	観点	評価方法
10	<ことば発見2> 方言と共通語 (言語生活) <漢字の部屋3> 新しい読み	3	1 方言によってことばの違いがあることを確認し、共通語との違いや方言の意義について整理する。 2 自分の住む地域の方言について考えるとともに、全国的な方言分布を考える。	・共通語と方言の果たす役割について理解を深める。		観察 発言 ノート
	平家物語 (古典)	9	1 場面や人物の様子を思い描きながら、文語文を朗読し、味わう。 2 登場人物の行動や心情について、観点を決めて考えたり、まとめたりする。 3 文章全体の感想を、みんなで話し合う。 4 「祇園精舎」を暗唱し、発表する。	・古文独自の表現の仕方や古文の特徴に注意して読む。 ・古文を読み、その中に表れている人間・社会・自然などについての考え方を知り、自分の意見と比べて、話し合う。		観察 発言 ノート 朗読
11	漢詩の世界 (古典)	7	1 語句の意味や構成などに注意して漢詩を朗読し、リズムを味わう。 2 作者のいる場所や心情などをまとめ、話し合う。	・漢詩の中の漢字や語句の意味を正しく理解する。 ・漢詩独特の表現の仕方や漢詩の特徴について学習し、注意して読んだり朗読したりする。 ・漢詩の中に表れている人間や社会、自然について考え、自分の意見をもつ。		観察 発言 ノート 朗読
	<漢字探検2> 同訓異字・同音異義語 (漢字)	2	1 同訓異字や同音異義語の存在を確認し、漢字学習上の留意点について整理する。	・同訓異字の漢字や同音異義語の熟語について理解し、漢字について関心をもち、理解を深める。		観察 発言 ノート
	ジーンズ (詩)	2	1 比喩表現の用いられている部分に着目し、感じたことや考えたことを発表し合う。 2 主題につながることばについて、想像して話し合う。	・詩の中の語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉に役立てる。 ・詩を読んで、社会や人間についての自分の考えを深める。		観察 発言 ノート
	<書写> 楷書と仮名 (硬筆, 毛筆)	7	1 これまでに学習した書写技能を確認する。 2 かなの交え方を理解して書く。	・これまでに学習してきた書写の知識と技能に基づいて、場面や目的にふさわしい書き方を考えて書き表している。 ・楷書と仮名の調和を理解して書き表している。		観察 点検 制作物の分析
1	<書写> 書き初め	3	1 「書き初め」という伝統的な活動に理解を深めるとともに、これまでに学習した知識・技能を生かして書く	・これまでに学習した知識・技能を用いて「書き初め」にふさわしい活用の仕方を意識して書き表している。		観察 点検 制作物の分析

月	教材名	時数	学習活動	評価規準	観点	評価方法
	走れメロス (小説)	8	1 冒頭の場面から、メロスの人物像をとらえる。 2 一連の場面ごとに、メロスの様子や思いをまとめる。 3 最後の場面を中心に、登場人物の気持ちをまとめて話し合う。 4 王の考え方がどのように変わったのかについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説の文脈における語句の効果的な使い方をとらえ、自分の言葉の使い方に役立てる。</li> <li>この小説の表現の仕方や工夫、特徴などに注意して読む。</li> <li>登場人物の生き方や人間関係、社会のあり方について考え、自分の考えをもつ。</li> <li>小説の筋立てや展開の仕方をおさえて、場面ごとの出来事、登場人物の様子、気持ちなどをとらえ、適切にまとめる。</li> </ul>		観察 発言 ノート
	ことばのコラム 2		〔ことばのコラム〕「心の中のことば」を読む。			
2	<文法の窓 2> 副詞・連体詞・接続詞・感動詞	5	1 文の中での副詞のはたらきを発見する。 2 副詞・連体詞・接続詞・感動詞の性質について整理する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>副詞や連体詞・接続詞・感動詞の性質について理解し、文法について関心を持ち、理解を深める。</li> </ul>		観察 発言 ノート 小テスト
	対話を考える (説明)	3	1 「対話」と「会話」の違いについて具体的な場面を例として考える。 2 「対話」に関する筆者の主張の根拠となる理由をまとめ、話し合う。 3 「対話」の体験を振り返り、感じたことや考えたことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明文の中にある語句の正確で効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方に役立てる。</li> <li>筆者の論理展開の仕方を的確にとらえ、筆者の主張とその根拠を押さえ、「対話」についての内容を理解する。</li> <li>文章を読み、「対話」についての認識を深め、自分の生活を振り返る。</li> </ul>		観察 発言 ノート
	対話劇を体験しよう (対話)	2	1 場面や状況によって自分の話しことばがどのように違っているのかを感じ取るために、手順に従って、対話劇を作る。 2 自分の話しことばについて気づいた点などを振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み手によく分かるように表現を工夫する。</li> <li>表現のおもしろさを理解するとともに、自分の表現に活かす。</li> </ul>		観察 発言 ノート 話し合い
3	<表現プラザ 2> ことばでスケッチ (説明)	1	1 写真を見て、ことばでスケッチをする。 2 絵を見て、観点を決めて説明の文章を書き、お互いに読み合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み手によく分かるように表現を工夫する。</li> <li>表現のおもしろさを理解するとともに、自分の表現に活かす。</li> </ul>		観察 発言 作品
	枕草子・徒然草 (古典)	8	〔枕草子〕 1 リズムに気をつけて音読する。 2 季節ごとに内容をまとめ、共感できる季節について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文の中の古語について、意味と働きを正確に理解する。</li> <li>人間・社会・自然に対する古人のものの見方・考え方を知り、</li> </ul>		観察 発言 ノート 朗読

月	教材名	時数	学習活動	評価規準	観点	評価方法
			3 作者のあげたものを箇条書きする。 [徒然草] 1 序段を繰り返し声に出し、暗唱する。 2 法師の気持ちをまとめる。 3 作者の感じ方を支えている事実についてまとめる。	それに対する自分の意見をもつ。		
	<漢字探検3> 熟語の組み立て	1	1 熟語の組み立ての基本的な原理を発見し、その観点から熟語を分類する。	・熟語の組み立てについて理解し、漢字について関心をもち、理解を深める。		観察 発言 ノート
合計		113				